



かなざきひさを応援する会・会報 44号 事務局 上山口 1878-9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail [kanazakihi@jcom.home.ne.jp](mailto:kanazakihi@jcom.home.ne.jp)

URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

ご挨拶：4月24日に行われました葉山町議会議員選挙において、4期目の議席をいただくことができました。皆様方の負託にお答えできるよう、しっかりと筋を通して活動できるよう勤めていきますのでご支援・ご指導よろしくお願いいたします。  
金崎ひさ

## 議長選挙 くじ引きで落選

### ○ 葉山町議会第1回臨時会が開催されました。

期日 平成23年5月17日

改選後初めての議会で人事が決定されました。かなざきひさは開かれた議会を目指し、議長選挙に立候補し、畑中議員との選挙となりましたが、7対7の同数となりくじ引きの結果、議長は畑中議員と決定いたしました。役職として、総務建設常任委員長に就任いたしましたので、委員会運営の中で、議員間の討議や町民との意見交換など、活発で開かれた議会を目指したいと思っております。

なお、会派としては、待寺氏が議席を失いましたので、新たに横山議員を迎え、かなざきひさは引き続き新葉クラブの代表として活動を続けてまいります。

## 葉山町議会第2回定例会報告

期日 平成23年6月7日～6月17日

### ○ 9月以降のごみの処分はどうするつもりなのか ごみ関連補正予算からみる問題点

可燃ごみ運搬処分委託費 1億134万3,000円計上(23年7月～9月までの3か月分) 3,378万円/月  
(予備費は1億6,299万7,000円でした) 現在の残高5,670万円

焼却炉稼働の見通しのないまま、9月までの予算しか計上しなかった理由は財政難でした。そして、その後は、との質問に、9月の議会では22年度決算が審査され、その余剰金での予算措置ができるとの答弁でした。

### 節約をして残した税金をごみとして燃してよいのか

不燃系ごみ収集委託費	319万8,000円増額(7月～24年3月まで)	合計	3,408万円
ミックスパー収集委託費	455万6,000円増額(7月～24年3月まで)	合計	620万円
不燃物処理施設補修費	429万6,000円増額	合計	1,860万円

☞ごみ処理基本計画にある「戸別収集の導入・資源物回収の改善」は年度内断念か

皆様 御存知ですか

### ○ し尿投入施設、架空の土地に設計し、1890万円の無駄な設計料金を支払う 町長の責任が10パーセント2か月の減俸だけで許されるのだろうか？

21年度に1,890万円で実施設計を済ませた事業が、借りるべき土地が不存在であったことが判明し、頓挫しております。こんな馬鹿げた失態は民間ではありえないことです。

第1回定例会で議会は、原因究明と責任の所在を明らかにする決議を上げ、それを受けて、行政側が調査委員会を設置しました。委員長が森町長という奇妙な委員会でした。その調査結果により、職員考査委員会が開催され、関係職員7人へ、最大10%6か月の減俸に値するという結論が出ました。にもかかわらず、町長の裁量権で、職員1人へ10%2か月の減俸、2人に10%1か月の減俸、1人に厳重注意との措置を決定いたしました。町長は、3月にすでに自ら10%2か月の減俸をしており、それに合わせた処置であるとの批判は免れません。調査委員会の報告は町長の指導力にまで言及しており、それを真摯に受け止め、町のトップとしての責任を最大限にとるべきであると考えます。しかし、町長は再発防止に努めることが自分に課せられたこととし、自分へのペナルティーは処置済みであるとの答弁は譲りませんでした。そして、施設建設は23年度中に完成させたいと、夢を語るのみで、実現性が全くなく、計画も予算もまだ、計上されておられません。

個人的には人間の失敗を深く追求することを良しとはしませんが、このようなことがまかり通っている現状を踏まえ、町長に対しかなざきひさの発案で全議員の賛同を得、自らを処分し責任をとるよう申し入れました。

## ○かなざきひさの一般質問

### (1) 安心・安全のまちづくりについて

3月11日の東日本大震災の影響により、葉山町でも11カ所の避難所を開設し、608の方が避難されました。この実施体験をこれからのマニュアル作りに活かし、みんなが安心して安全に暮らせるまちづくりをするべきと考え質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
町民への伝達方法は。	防災行政無線の重要性を感じた。(町長)
壊れて鳴らない防災行政無線もあり、補修にもずいぶん時間がかかっていた。	老朽化しており、今後はデジタル化の更新計画を行う。(町長)
海上への周知は、サイレンなど必要ではないのか。	現状では、海岸から上がれというサインを送り、マイクを使っている。(消防長)
ビーチFMのスタジオは津波に流される可能性があるが。	消防本部の司令室にビーチFMの職員が来て対応している。(消防長)
避難された11町内会の方々からご意見を伺って、本当に役に立つマニュアルづくりに活かすべきではないか。	大変重要な指摘である。町内会で動いて頂いた方々の貴重なご意見をお聞きする会を早急に設けたい。(町長)
学校では保護者への引き渡しが行われたが、夜遅くまで「引き取りに来い」との放送が入っていた。帰宅困難者も大勢いた中、行きたくても行けなかったのではないか。放送内容に一考が必要である。	誤解されないような伝え方を工夫し、気持ちのこもったものにしたい。(教育長)
地震直後に私立幼稚園のバスが海岸に向かって走っていた。被災地での園バスの悲劇もあり、園児の安全の確保については。	幼稚園協会等と協議して、知恵を出してまいりたい。(教育長)
学校行事として、体育館に泊まる防災キャンプ等を企画しては。	今後、研究をさせていただきたい。(教育長)
運動場など、土中の放射能測定は。	土中はしていない。地表のみである。(教育長)
海水浴シーズンに備えて、海水の放射能測定は。	測定している。(都市経済部長)
企業の日曜出勤が行われるが、それに備えて、保育園の日曜日の開放は。	今のところ要望はないが、要望に応じて検討するつもりはある。(保健福祉部長)
かなざきひさの考え この大震災で葉山町でも日頃の訓練では分からない多くの問題点に気づきました。このことが、町民の皆様方の安全に役立つものとなるよう、マニュアルの見直しが急がれます。	

### (2) ごみ問題について

町は5月に町内7カ所で意見交換会をしました。そこでの問題点を取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
意見交換会の総括は。	減量政策については、おおむねご理解を得た。(町長)
その時配布された資料の中で、指定袋製作等に3,600万円経費がかかるが、焼却費用の削減が6,400万円見込まれるため、投じた費用以上に効果が見込まれる、とある。これは何年かかっている削減か。	1年間の数字である。(生活環境部長)
1年で3,600万円かけて、6,400万円減る。2年目は3,600万円かけて、いくら減るのか。	ゼロだと思う。(生活環境部長)
町民への配布資料はまやかしの数字である。2年経つと製作費は7,200万円、焼却費の削減は6,400万円ではないか。	指定袋の効果として6,400万円を示した。指定袋を無くするとごみ量が元に戻るとの考えである。(生活環境部長)
3,600万円で燃やすための袋を作るよりも、電動生ごみ処理機等を各戸に配布し、生ごみの収集を止めた方が、半減に近づくと思うが。	生ごみの自家処理はごみの半減化に対して非常に重要であると認識している。(町長)
ごみ処理基本計画の説明の際、指定袋の条例提案を再度行うとのことであったが、あきらめた方がよい。	住民説明が足りないという意見に沿って、6月提案は見合わせた。(生活環境部長)
焼却炉について。	最終調査結果を見ながら結論を出す。(町長)
県への炉の改善計画すら出ていない状況で、いつになると思っているのか。町長の任期はすでにないと思うが。	明確な時期は承知していない。(町長)
かなざきひさの考え 指定袋がなかったらごみ量がリバウンドするという考え方に唖然としました。袋の大小でごみ量が増減すれば、それは町として減量化施策の怠慢です。また、各説明会での町長答弁に一貫性がなく、全く信用できないごみ行政です。	

